

対人スキルの柱7

エクスプレッシブタイプの取扱説明書

●エクスプレッシブタイプ (直感型 / 感覚派)

- ・チャレンジ精神旺盛
- ・明るく社交的
- ・頭よりも体が動く



■著作権について本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

1. 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

2. 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

3. 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

4. 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

5. 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

ソーシャルスタイル別の対処法第2弾は
エクスプレッシブタイプの取扱説明書！

身边にエクスプレッシブタイプの
上司や先輩がいる場合は、
ぜひチェックしておきましょう！

★エクスプレッシブタイプの特徴★

◎盛り上げ役のおしゃべりタイプ

エクスプレッシブタイプは
とにかく話好きで、

周りを巻き込んで盛り上ることが
大好きなタイプです。

職場でもムードメーカー的なポジションに
いることが多いのがこのタイプ。

飲み会の幹事が得意なのも特徴の1つで
僕は基本的に飲み会のときは
エクスプレッシブタイプの人には
助けられたりします。笑

◎樂観的で後先を考えない

一言で言えば「なんとかなるさ！」
でどんどん突き進むタイプ。

頭で考えてから動き出す慎重派とは真逆で
先に体が動くタイプですね。

大雑把な性格で
多少失敗したり注意されても
凶むことは少ないので、

僕はエクスプレッシブタイプの人を
少し羨ましく思うこともあったりします。

◎面倒見が良い一面も

周りを気にかけたり
フォローする姿勢が強いので

上司であっても親しみやすく
頼りにされる存在でもあります。

細かいことを気にしないため
真面目で理屈重視の部下にとって
ストレスになるかもしれません、

一方で、相談事に対しては
積極的に耳を傾けてくれるはずです。

★エクスプレッシブタイプが されて嫌なことと対策法★

◎否定ではなく提案ベースで！

エクスプレッシブタイプに
意見を言いたいときは特に

否定として伝わらないように
注意が必要です。

楽観的である一方で、
強く否定されると
意外と傷ついてしまうタイプなので

「こうしたらもっと良くなるのでは」
と少し遠回しに伝えるほうが
平和なやりとりができます。

◎理屈ではなく感覚で伝える

理屈っぽい考え方が苦手のため、
何かを伝える時は理論抜きで
感覚ベースな伝え方をするといいです。

根拠やデータは述べず、
「〇〇な気がする」という
感覚的な伝え方をするのがポイント。

理由や根拠は
求められた時に補足する程度でOKです。

◎頼りになることを伝える

普段から頼りになる存在であるため、それをそのまま言葉で伝えてあげることが承認欲求を満たすことに繋がります。

具体的な内容でなくても

「〇〇さんは頼りになります！」

「〇〇さんがいると心強いです！」

といった一言で十分すぎるくらい承認欲求を満たしてあげることができます。

★まとめ★

◎ 楽観的な性格

▶ 真面目な性格の人とは相性がイマイチだが、決して悪い人ではない。考え方・価値観の違いとして受け入れよう。

◎ 基本的に話しやすい

▶ とはいっても否定は厳禁。話しやすいからといって最低限の礼儀は必要。

◎ 理屈っぽい説明は苦手

= 感覚で理解するタイプ

▶ 理屈を並べずこちらも感覚で話す。

◎ 面倒見が良い

= 賴りにされていることを実感したい

▶ それをそのまま言葉で伝えればOK。

エクスプレッシブタイプは基本的に
直接的な害を及ぼしてくることは少ないので

上記を気をつけて接していれば
トラブルが起きることは少ないとおもいます。

ぜひ参考にしてくださいね！

次回はアナリティカルタイプの扱い方を
説明していきます！

お楽しみに(^^)/